

IV. 參考資料



2025年度JICA北海道 教師海外研修 募集要項

MONGOLIA モンゴル



～ 遊牧の民と大自然を体感！ 世界一贅沢な授業づくり～



JICA北海道（札幌・帯広）開催



募集人数

北海道教員 8名



モンゴル国 研修内容(案)

1. 学校訪問、児童/生徒/教員との交流・インタビュー
2. 地域住民との交流・インタビュー
3. JICAプロジェクト現場視察、JICA海外協力隊現場視察
NGO活動現場視察



応募方法



エントリーフォーム

2ステップ申込にて受付します。

- ①エントリーフォームにて、氏名・学校名・連絡先・提出方法(メール、郵送、持込み)を入力。
- ②所定の用紙に必要事項を記入の上、『4.申し込み・問い合わせ先』宛にエントリーフォームで選択した提出方法でお申し込みください。

申し込み締切→2025年5月19日(月)17:00必着

2025年6月2日(月)までに選考結果を通知する予定です。

※申込の未達等の連絡は①に記載いただいた連絡先に差し上げますので、必ず①の入力を済ませた上で、②へお申し込みください。



主
担 当 機
後

催：独立行政法人国際協力機構(JICA)
関：JICA北海道（札幌・帯広）
援：外務省、文部科学省、北海道教育委員会、札幌市教育委員会



訪問国モンゴル国の基本情報

国名：モンゴル国

首都：ウランバートル（人口約173.5万人）（2023年、モンゴル国家統計局）

言語：モンゴル語（国家公用語）、カザフ語

宗教：チベット仏教等（社会主義時代は衰退していたが民主化（1990年前半）以降に復活。

1992年2月の新憲法は信教の自由を保障）

民族：モンゴル人（全体の95%）及びカザフ人等

面積：156万4,100平方キロメートル（日本の約4倍）

人口：約350.5万人（2023年、モンゴル国家統計局）

外交：隣国である中国とロシアとのバランスの取れた外交関係を展開しながら、両隣国に過度に依存することなく「第三の隣国」との関係を発展させることである。中でも日本との関係は特に重視されており、様々なレベルでの交流を通じて、二国間関係を強化している。



※データは外務省HPを参照し、記載(2025/4/10現在)

1：研修のねらい

- ①本研修は、実際に開発途上国を訪問し、開発途上国の現状・課題、日本との関係、国際協力の現場を体験することで開発途上国と北海道の繋がりやSDGsについて理解を深め、『参加型・対話型』の授業づくりを行うことをねらいとしています。
- ②研修参加者同士の意見交換や知見の共有を通して、研修後も継続してJICA北海道(札幌/帯広)と協力し、教育現場においてさらなる①の推進を図っていただくことも目的としています。
- ③参加者は、事前・事後の国内研修と、開発途上国への海外研修を通じて、現地で得られる情報・素材を活用した『参加型・対話型』の授業案の作成とその実践を行っていただきます。
- ④広く教育関係者へ開発教育/国際理解教育の重要性を発信するために、授業や指導案を紹介する「成果報告会」を実施します。

2：参加資格



- ① 北海道内の国立/私立の小学校・中学校・高等学校・中等教育学校・高等専門学校・特別支援学校に勤務する教員で(ア)授業もしくはクラブ活動等で国際理解教育を実践中であり、今後も学校内外において継続的に実践する意思がある方、または(イ)現在実践はしていないが、今後JICAと連携・協力しながら開発教育/国際理解教育の普及促進に貢献する意欲がある方。 ※今後、長く教育現場で実践できる方が望ましい
- ② 所属する学校長からの推薦がある方
- ③ 開発途上国での海外研修に耐えうる健康状態の方
- ④ 本研修の趣旨・目的を十分理解し、海外現地研修及び国内で実施される事前・事後研修、成果報告会の全日程【3.研修日程(予定)参照】に参加可能、かつ積極的に取り組める方
- ⑤ 帰国後、2025年11月下旬までに本研修で作成した指導案に基づき、勤務校等にて『参加型・対話型』の授業実践ができる方
- ⑥ 必要提出物をJICAが設定する期限までに提出できる方
- ⑦ 研修報告書及び授業実践報告、研修中(事前・事後を含む)や、勤務校等での実践授業の様子を撮影した写真/映像をJICA事業広報のために使用することに同意できる方
- ⑧ 原則として、過去にJICA教師海外研修、JICA海外協力隊、JICA専門家、ODA民間モニター、国際協力レポーター等、外務省やJICAから海外に派遣された経験のない方 ※教師国内研修参加者については応募可
- ⑨ 将来的にJICAが実施する国際理解教育支援事業での講義等の協力が可能な方
- ⑩ 連絡可能なメールアドレスを所有し(携帯メール不可)、JICAが管理するSNSやメーリングリストに登録可能な方 ※研修に係る情報共有や帰国後のネットワーク等にて活用



3：研修日程(予定)

研修事項	場所	日程	内容
全国合同 募集説明会	オンライン	2025年 4月23日(水) 17:30~18:30	◆JICA本部が行う募集説明会 詳しくはこちらのQRコードから→ 
第一次事前研修	JICA北海道 (帯広)	2025年 6月21日(土)、 6月22日(日)	◆オリエンテーション ◆教師海外研修参加者チームビルディング ◆訪問国事情 ◆モンゴルの概要、研修日程についての説明 ◆海外研修を踏まえた指導案作成・授業実践について
第二次事前研修	JICA北海道 (札幌)	2025年 7月19日(土)、 20日(日)	◆旅程確認、現地での活動準備、渡航手続き等 ◆国際理解教育セミナー【実践編】 ◆『参加型授業』のつくりかたについて
海外研修	モンゴル	2025年8月1日(金)~ 8月11日(月)のうち 1週間程度	◆学校訪問、児童/生徒/教員・地域住民との交流や インタビュー、JICA海外協力隊活動視察、 JICAプロジェクト現場視察、NGO活動現場視察等
事後研修	JICA北海道 (帯広)	2025年 9月13日(土)、 14日(日)	◆指導案検討会 ◆研修参加者は指導案を作成、他の研修参加者 および関係者と指導案を共有、意見交換
授業実践	各所属校	2025年9月中旬~ 11月下旬	◆各所属校にて授業実践 ◆アドバイザー、JICA職員による授業モニタリング
成果報告会	JICA北海道 (札幌)	2025年 11月29日(土)、 30日(日)	◆成果報告会を一般公開し、研修参加者の研修報告 および授業実践報告を行う ◆国際理解教育セミナー【共有編】
成果品の作成		2026年3月末	◆研修参加者の海外研修報告書および指導案を基に成 果品として実践報告集を作成し、関係者に配布 (電子版および簡易製本版)

4：申し込み・問い合わせ先

〒003-0026 北海道札幌市白石区本通16丁目南4-25 JICA北海道(札幌)内
公益社団法人 青年海外協力協会 教師海外研修担当 (JICA業務委託先)
TEL：011-866-1515 FAX：011-866-1516 Email：hokkaido@joca.or.jp





5：参加費用

区分	個人負担経費	JICA負担経費
国内	<ul style="list-style-type: none"> ◆パスポート取得にかかる費用 ◆事前・事後研修、成果報告会参加における食費等 ◆予防接種費用(黄熱病等) ◆その他、個人的な費用 	<ul style="list-style-type: none"> ◆事前・事後研修、成果報告会参加のための国内移動(自宅から研修場所)にかかる旅費 ◆事前・事後研修、成果報告会にかかる宿泊費(超過分は個人負担) ※研修当日、居住地の都合により、早朝深夜の移動となる方のみ対象 ◆海外研修への国内移動(自宅～羽田もしくは成田空港)にかかる旅費、空港使用税 ※交通費、宿泊費はJICA規定に基づきお支払いします。(経済経路)
海外	<ul style="list-style-type: none"> ◆海外研修中の食費および宿泊費(全旅程で12万円程度。為替相場により変動する場合があります。) ◆追加保険の加入費用 ◆その他個人的な費用 	<ul style="list-style-type: none"> ◆訪問国(モンゴルを予定)への入国に必要な査証申請のための費用 ◆往復航空運賃および燃油サーチャージ ◆羽田もしくは成田空港および海外での空港使用税 ◆往復航空券手配にかかる手数料 ◆海外旅行損害保険加入費 ◆現地視察に必要な費用(車両備上等)

6：その他、注意事項

- ◆本研修には、ツアーコーディネーターは同行しないことから、ご自身で情報収集をしていただく必要があります。
- ◆参加者の研修中の扱い(年休/研修等)については、所属先の判断によりますので、ご自身でご確認をお願いします。
- ◆本研修では、JICAにおける労災保険等の適応はありません。所属先の業務出張扱いで参加される場合は、各所属先の責任において、参加期間中の公務上災害に対する補償処置を行ってください。
- ◆研修の参加者として選考された後においても、JICAの指示に従わない方、他の参加者へ迷惑をかける方、研修プログラムに参加できない方、期日までに提出物の提出ができない方については、国内外での研修期間を問わず、研修参加者としての資格を失うことがあります。特に海外研修中に研修対象者としての資格を失った場合、旅費・滞在費等にかかるキャンセル料等は、全額自己負担となります。また、帰路の旅費も自己負担となりますので、ご了承ください。
- ◆海外研修中に事故が起こった場合、海外旅行保険の範囲内において補償します(国内での研修は除く)。
- ◆研修実施国の諸事情により、予定していた研修プログラムが変更になる可能性があります。
- ◆本研修を通じて作成・提出いただくレポートや写真等の資料一式は研修参加者間の相互の学びのため、全研修参加者に共有いたします。また、広く他の教員の方々にもご参照・ご活用いただけるよう、JICAのHP、メールマガジン、その他各種広報誌等を通じてご紹介させていただく場合がございますので、可能な範囲でご協力をお願いいたします。
- ◆応募時にいただいた個人情報、利用の可否を確認のうえ、本研修以外のJICAの研修やイベントの情報提供に使わせていただく場合があります。いただいた個人情報は、JICAの内部規程(個人情報保護に関する実施細則)に基づき、適切に管理いたします。
- ◆JICAの開発教育/国際理解教育及び研修のさらなる充実、改善に生かすため、参加者の研修後の開発教育/国際理解教育への取組について、後日アンケートを実施しますので、回答へのご協力をお願いいたします。



教師海外研修って？

開発教育や国際協力に関わる講義、ワークショップ、フィールドワークを中心とした研修プログラムです。国際協力の現場を訪問し、様々な「人」と出会い、帰国後はその経験をもとに「生徒が主体的に考え学べる」授業づくりを行い、自身の学校で実践までを行います。

学ぶ！



海外研修に向けた準備

開発教育とは？『参加型』授業づくりとは？ そんな疑問にお答えするために、本研修では「基礎」の部分から講座を実施します。また、過去参加者との交流を通して、授業づくりのコツや海外研修でどのように取材を行うか等、授業づくりの不安にもお応えします！

体験する！



海外研修

海外研修では「開発途上国」を知るために現地を視察し、JICAやNGOがどのような取り組みをしているか学びます。また、現地の方との交流や学校訪問もあり、五感をフルに使って沢山の気づきを得ます！

実践する！



授業実践に向けた準備

帰国後研修では、訪問国で得た体験や資料をもとに授業づくりを行います。

先生自身の伝えたいことを見極め、児童・生徒が主体的に考え学べるにはどのような指導案が良いのか、参加者やアドバイザーと相談しながら進めていきます！



授業実践

国内外での研修を通じて作成した指導案に基づき、各所属校において授業実践を行い、指導案の更なる改善を図ります。



成果報告会

国内外での研修、授業実践を行った成果を教育関係者や一般の市民を対象に報告会を行います。



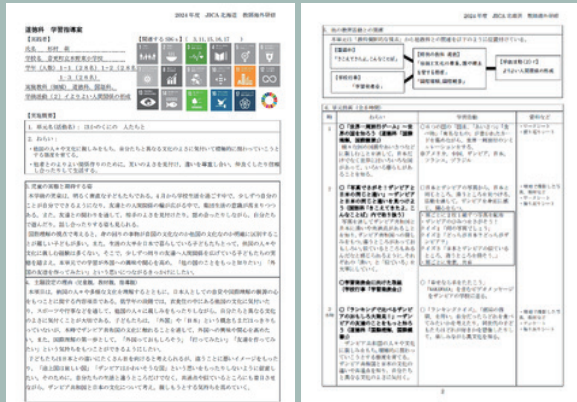


～こんな人におすすめ～



- ・地球市民への視点を広げて授業づくりをしていきたい方
- ・地域の特性や強みについて、生徒たちと一緒に考えていきたい方
- ・探究学習を向上させたい方
- ・参加型授業づくりについて学びたい、実践したい方
- ・地域、教科、校種を超えた仲間づくりをしたい方

～研修のゴール～



海外研修で体感したことをもとに、生徒に伝えたいことを教材化します。

- ・参加型／対話型の手法を使った授業をつくりまします。
- ・指導案を作成します。
- ・自身の学校にて実践をしていただきます。

※過去の参加者による指導案はQRコードよりご参照ください。



Think Globally, Act Locally

2024年度
参加者の
感想



水・ゴミ問題は日本も含め
全世界の課題だと痛感した！

現地で活躍する協力隊員とお話を
して、自分の人生を見つめなおす機会
になりました。

参加者同士がお互いにアイデアを出し
合うことで、自分の指導に対する考
えを深めることができました。

一生の思い出に残る贅
沢な研修になりました！



関連イベント

5/11
SUN

国際理解教育セミナー 開催！

入門編

JICA北海道
主催イベント

「世界がもし100人の村だったら」をワークショップで体感
経験豊富なアドバイザーと一緒に、国際理解
の基礎となる「多様性」や「貧富の差」を
ワークショップで学びます。参加型授業を学
びたい方や一般の方も大歓迎！



お申し込みは
こちら！



<https://x.gd/mtynt>

※本研修は「DEAR」教材を使用しています

日時：2025年5月11日(日)
14：00～16：40
場所：JICA北海道センター（札幌）
定員：30名

5月8日(木)締切

★「教師海外研修」体験談も聞ける！



JICA北海道 2025年度教師海外研修 応募用紙

ふりがな			生年月日	年齢
氏名			年 月 日	2025年5月19日時点の満年齢 歳
自宅住所	〒			
電話番号 (固定)		電話番号 (携帯)		
E-mailアドレス (携帯メール不可)				
ふりがな			職階	教諭 ・ 主幹教諭 その他 ()
所属学校名 (正式名称)			担当教科 学年	
学校住所	〒			
電話番号		FAX番号		
趣味・特技				
Q. 以下の設問について□に✓チェックしてください。				
1. 研修全日程への参加について健康上の問題はないでしょうか。			□ はい □ いいえ	
2. フィールドワーク及び対面・オンラインで実施される研修の全日程に参加できますか。			□ はい □ いいえ	
3. 本研修で作成した指導案を基にした授業を2025年11月までに所属校で実践できますか。			□ はい □ いいえ	
4. 指導案及び研修報告書をJICAが設定する期日までに提出できますか。			□ はい □ いいえ	
5. 研修後に、JICAが実施する国際理解教育支援事業での講義等の協力が可能ですか。			□ はい □ いいえ	
JICAの国際理解教育支援プログラムを活用されたことがある方は以下の□に✓チェックしてください。				
<input type="checkbox"/> ①ほっかいどう地球ひろば訪問 <input type="checkbox"/> ②国際協力出前講座 <input type="checkbox"/> ③中・高生エッセイコンテスト <input type="checkbox"/> ④研修員・道内在住の外国人による学校訪問 <input type="checkbox"/> ⑤ 国際理解教育指導者研修 <input type="checkbox"/> ⑥その他()				
現在治療している傷病、 もしくは日常的に服用している薬がある	過去教師海外研修の参加経験		<p style="text-align: center;">写真</p> <p style="text-align: center;">(4cm×3cm)</p> <p style="text-align: center;">左のラインに合わせて貼付</p> <p style="text-align: center;">写真裏面に氏名を記入</p>	
<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない あると答えた方は詳しくお書きください。	<input type="checkbox"/> ある 平成 _____ 年 <input type="checkbox"/> ない			
私は研修の概要、募集要項記載事項をすべて承諾し、この研修への参加を申し込みます。				
2025年 月 日 署名			④	

応募書類において入手しました個人情報、本研修の選考および派遣業務のみに使用します。また、当該情報は当機構にて厳重に管理し、正当な理由なく第三者への開示、譲渡および貸与することは一切ありません。ただし、当機構との間で機密保持契約を締結した第三者に対し、本研修に関する業務を委託する場合を除きます。



多様性 貧富の差
国際理解教育を体感する
ワークショップ

“100人村”からはじめよう!

2025年度JICA北海道 国際理解教育セミナー【入門編】

5/11
SUN
14時スタート!

「世界の問題を身近に感じてもらうには?」「授業を参加型にしたい!」
そんな方にお勧めの入門教材が「世界がもし100人の村だったら」(DEAR)です。
経験豊富なファシリテーターが、実践ポイントなどを解説。ワークショップ初心者でも安心して学べるので、教員だけでなく、開発教育/国際理解教育に興味のある一般の方の参加も大歓迎です!

「教師海外研修」参加者の体験談も聞けます!

定員 30名

場所 JICA北海道センター(札幌)
札幌市白石区本通16丁目4-25
2階ブリーフィングルーム

申込方法

右のQRコードから
必要事項をご入力ください
5月8日(木)締切



当日の流れ	
13:30	受付開始
14:00	アイスブレイク 【ホビーライン】
14:15	ワークショップ 【世界がもし100人の村だったら】
15:15	振り返り
15:35	「参加型手法」のポイント
16:00	「教師海外研修」体験談
16:30	アンケート

後援：北海道教育委員会(予定)、札幌市教育委員会(予定)

お問い合わせ

公益社団法人 青年海外協力協会 (JICA業務委託先)
☎: 011-866-1515 MAIL: hokkaido@joca.or.jp



(2025年度 JICA北海道 国際理解教育セミナー 実践編)



JICA北海道(札幌)主催



2025年度
国際理解
教育セミナー
【実践編】

ワークショップ

ちがいのちがい

7月19日(土)
開催!

定員
30名



これってブツ？

常識を疑うことから始めよう!



教材：財団法人大阪府人権協会/大阪府府民文化部人権室



D-netの先生が実践ポイントをレクチャー!

Let's think!

このちがいは
おい? なし?



① A社では体の不自由な人を雇用しているが、B社ではしていない。

② 女性のお医者さんには女医さんと言うが、男性のお医者さんは男医さんとは言わない。

日本や世界にある違いや差について「あっていいちがい」か「あってはいけないちがい」かを考えるワークショップ。
【入門編】に続き今回もD-net(北海道開発教育ネットワーク)の先生をお迎えし、明日から使える実践方法を伝授します!
何気なく見過ごしている区別や差別を、ジェンダー・障がい・文化や歴史的背景をふまえて深掘りできる貴重な機会、教員だけでなく一般参加もお待ちしております。

当日のながれ	
14:00	開始(13:45より受付開始)
14:05	アイスブレイク
14:15	カードワーク 「ちがいのちがい」
15:15	休憩
15:20	振り返り
15:50	集合写真 アンケート
16:00	終了



対象:
教員、大学生以上で開発教育/
国際理解教育に関心のある方



会場:
かでの2・7 10F 1030会議室
(札幌市中央区北2条西7丁目
道民活動センタービル)



公益社団法人 青年海外協力協会
(JICA業務委託先)
☎:011-866-1515
MAIL:hokkaido@joca.or.jp

お申込み



7月16日(水)
17時締切

要予約 参加無料

11/29 (土)

13:00~17:40 途中入退室
(受付 12:30~) 自由

会場：JICA北海道(札幌)
〒003-0026 札幌市白石区
本通16丁目南4-25

Mongolia

北海道の教員8名が、
モンゴルで体験した
ことを素材に授業づ
くりを行いました！



2025

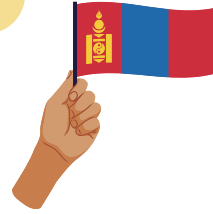
JICA北海道主催

教師海外研修inモンゴル

成果報告会

国際理解教育セミナー | 共有編

世界の課題を児童・生徒がデジタルツールとして
考える授業づくりの
アイデアが満載！



オンライン参加
OK! (ZOOM)



対面
定員40名



お申込みは
こちら！



11/24
締切



開発教育ってなんだろう？

教師海外研修に興味がある！

どなたでも参加OK！
お気軽にご参加ください

後援：外務省／文部科学省／北海道教育委員会／札幌市教育委員会

(2025年度 JICA北海道 国際理解教育セミナー 共有編 ウラ面)



気になる授業を **選** んで 体験!

当日のプログラム

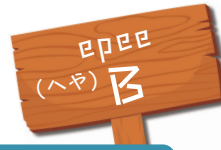


13:00~13:25	本研修の概要(授業づくりの視点から)	利尻富士町立鴛泊小学校 藤森菜月教諭
13:25~14:25	模擬授業体験①	総合音楽社会 「文化が消える? 未来をつくるのは、私たち」 釧路市立鳥取小学校 本間千尋教諭
14:30~15:30	模擬授業体験②	国語 「合意形成に向けて話し合おうー課題解決のために 会議を開く」 札幌市立元町中学校 山田翔子教諭
15:35~17:15	★教材紹介セッション①~③	
17:15~17:40	参加者の方々からの感想/アドバイザーからのコメント	



セッションごとに
好きな授業を選択!

★教材紹介セッション



【社会(地理)】
「近くて知らない国モンゴルのお話」
札幌市立北野中学校 菅井誠教諭

セッション① 15:35~16:05

【総合的な学習の時間】
「モンゴルの暮らし、その背景を探る旅」
幕別町立札内北小学校 小野竜大教諭

【生活・国語・道徳】
「せかいと なかよし
～こんにちはモンゴル!」
利尻富士町立鴛泊小学校 藤森菜月教諭

セッション② 16:10~16:40

【総合的な探究の時間】
「社会を変える?!
高校生のソリューション」
北海道中標津高等学校 荒井清貴教諭

【総合的な探究の時間】
「違いがあって、イーネ!!」
北海道室蘭養護学校 山西真理教諭

セッション③ 16:45~17:15

【地理総合】
「モンゴルの水と見えない水」
旭川藤星高等学校 小野瑞貴教諭



お問い合わせ

公益社団法人
青年海外協力協会

☎011-866-1515

✉hokkaido@joca.or.jp

JICA 北海道教師海外研修



JICA 北海道教師海外研修
実践報告集

